

特集 JASS6改定ポイントと鋼構造設計の留意点(仮題)

監修：田中 剛（神戸大学大学院教授）

JASS6が10年ぶりに改定された。本特集では、よりJASS6の改定内容が理解できるように、JASS6の改定ポイントを解説し、構造設計での留意点、監理や管理における役割と留意点の解説、JASS6に関するQ&Aなどで構成する。

主要目次

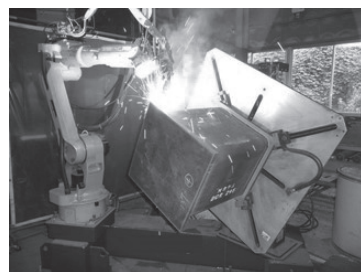
I. 改定の主旨	田中 剛
II. JASS6 の改定ポイント	
1 節 総則	田中 剛
2 節 品質マネジメント	山田丈富（千葉工業大学教授）
3 節 材料	嶋 徹（戸田建設）＋松本由香（横浜国立大学准教授） ＋五十嵐規矩夫（東京工業大学大学院教授）
4 節 工作	嶋 徹
5 節 溶接	松本由香
6 節 高力ボルト接合	桑原 進（大阪大学大学院准教授）
7 節 ボルト接合	森岡研三（三井住友建設）
8 節 塗装	犬伏 昭（清水建設）
9 節 溶融亜鉛めっき工法	山田丈富
10 節 検査	松下真治（日本鉄骨評価センター） ＋上平綱昭（エンジニアリングサービス）＋加賀美安男（日建設計）
11 節 発送	嶋 徹
12 節 工事現場施工	嶋 徹
13 節 耐火被覆	犬伏 昭
14 節 特記仕様書項目	田中 剛
付則 5 + 付則 8	松本由香
付則 6	森岡研三
付則 7	加賀美安男
III. JASS6 改定による構造設計での留意点	
1) 用語の統一	桑原 進
2) 高力ボルト接合の孔あけ加工	嶋 徹
3) 高力ボルト F14T 級の使用	桑原 進
4) 摩擦面処理の発錆処理での薬剤発錆	嶋 徹
5) 溶融亜鉛めっき部材の摩擦面処理でのりん酸処理	山田丈富
6) 鉄骨精度測定における管理許容差と限界許容差の考え方の違い	加賀美安男
7) 鉄骨精度測定の許容差	田中 剛
8) 柱梁接合部でレベルが異なる梁フランジに対してダイヤフラムを入れる設計	犬伏 昭
9) 完全溶込み溶接の柱梁接合部は裏当て金なしで K 形開先などの裏はつり形式のディテールとする設計の仕方	山田丈富
IV. JASS6 改定による監管理での役割と留意点	
1) 監理の留意点	加賀美安男
2) 管理の留意点	犬伏 昭
V. JASS6 改定で知りたい Q & A	
1) 耐火被覆について（公共工事標準仕様書との関連で）	犬伏 昭
2) 錆止め塗装について（公共工事標準仕様書との関連で）	犬伏 昭
3) レーザによる切断・切削・孔あけが追加されたことで、孔の径・間隔・縁端距離などの規定に影響があるか	嶋 徹
4) 超高力ボルトの遅れ破壊の検討	桑原 進
5) 母材より低い強度の裏当て金を採用する際の注意点	山田丈富
6) 先組みビルト H 梁のスカルップ加工における注意点	田中 剛
7) 溶接ロボットの扱い方	山田丈富
8) 柱梁工事現場溶接接合部における梁端ディテールの特性と注意点	松本由香
9) 狭開先を採用する場合の注意点	松本由香
10) 50° 開先のサブマーシアーク溶接による BH について	森岡研三
11) 円形鋼管の UT における小径への対応	上平綱昭

実務に役立つ技術情報誌

建築技術

8

2018



●進行スケジュール

広告申込締切日 2018 年 6 月 15 日

広告原稿締切日 2018 年 6 月 22 日

発 売 日 2018 年 7 月 17 日

●媒体概要

■創 刊 1950 年 7 月

■発行部数 20,000 部

■発 売 毎月 17 日全国発売

■判 形 B5 判

●編集方針

本誌は、建築設計者や建築技術者、研究者、行政などを対象に、実務に役立つ技術と情報を提供しております。計画・意匠・構造・施工・監理などを網羅し、最先端の話題から実務的な問題まで幅広く取り上げています。